

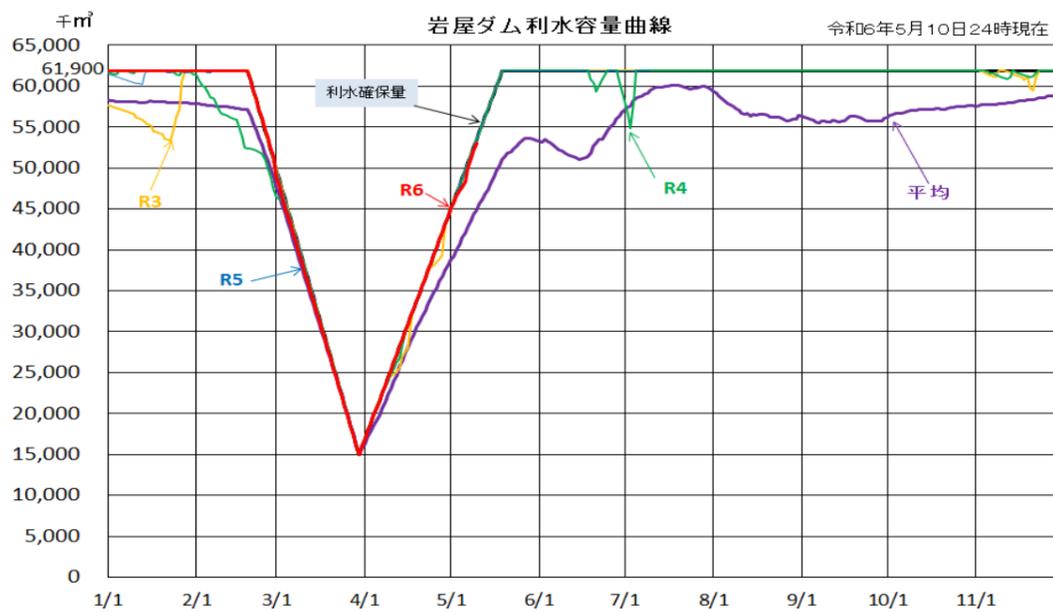


岩屋ダム利水貯水量 5,299万トン（貯水率99.1%）（5月10日現在）

農業用水取水量 280万トン（取水率6.7%）（5月10日現在）

5月に入り、いよいよ本格的な田植えシーズンを迎えました。現在の田植えの風景は、乗用田植え機による機械植えがほとんどですが、昭和40年代以降に田植え機が普及する前の田植え作業は、家族や親戚が一堂に会し、大人も子供も総出で横一列に並び手植え作業をしていたもので、そうした郷土の原風景を懐かしく思われる方も多いのではないのでしょうか。

さて、水源地である岩屋ダムでは、今年も「Vカット運用」(注1)により貯水率を一旦低下させ、4月から貯留期に入っています。5月10日時点の利水貯水量は5,299万トンで、計画利水確保量に対する貯水率は99.1%となっています。ダム周辺では定期的な降雨があり、ほぼ計画に沿った利水貯水量が確保できていますので、このまま順調に推移していけば、Vカット運用が終了する5月20日には、計画利水確保量の6,190万トンに達すると見込まれます。



また、農水取水量は、5月10日現在で280万トンとなり、昨年同時期の取水量より80万トン多くなっています。これから水稻の普通植えが本格的に始まると水の需要が急増しますが、右岸用水における総取水量は、白川取水口で4,190万トンと定められています。そのため、河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用していただくとともに、降雨時には給水栓を閉めていただき、右岸用水の有効活用にご協力をお願いします。

(注1) 岩屋ダムでは、発電を主体とした放流を同年2月20日から5月20日の間に行い、一時的に貯水池容量を低下させ、再び上昇させる運用をしています。グラフがアルファベットの「V」の字になっていることから、「Vカット運用」と言われています。

◇『早期中干し』実施にご協力を！

連合では、毎年この時期に、**計画的かつ安定的に右岸用水を利用するよう『中干し節水』による水管理**をお願いしています。丈夫な稲づくりや美味しい米づくりに必要な作業として、早期中干しの実施にご理解、ご協力をお願いします。

早植え田 (コシヒカリ)	5/21~5/25 (5日間)	美濃加茂市・坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
	5/25~5/29 (5日間)	川辺町
普通植え田 (ハツシモ)	6/8~6/12 (5日間)	坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
	6/12~6/16 (5日間)	美濃加茂市
	6/25~6/29 (5日間)	川辺町

◇東海地方 向こう3か月の天候見通し

(令和6年4月23日 名古屋地方气象台 発表)

- 【5月】・・・天候は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平均気温は高くなる見込みで、降水量はほぼ平年並みの見込みです。
- 【6月】・・・天候は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は高くなる見込みで、降水量はほぼ平年並みの見込みです。
- 【7月】・・・天候は期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平均気温は高くなる見込みで、降水量はほぼ平年並みの見込みです。



※ 各地で早植え品種の代掻きや田植えがスタートし、右岸用水の本格的な活用時期となりました。今後、農業用水の取水量が増えていくと見込まれますので、適正な水管理にご協力をお願いします。

